

愛広美青年部

「あいちKANBANフェスタ」

元気な名古屋を発信

愛知県広告美術業協同組合青年部(太田浩太郎部長)が主催する「あいちKANBANフェスタ2012」が、2月24日午前11時から愛知県産業労働センター「ウイंकあいち」で開催された。サイン製作会社等、約500人が来場した。出展社は、資機材メーカーと愛広美青年部所属企業の合計27社。

冒頭、太田部長が「今回は製品展示がメインの催しではなく、セミナーも含めたサイン製作会社とメーカーによる活発なやり取りで、より良い施工方法や仕事のきっかけ、ヒントがつかめるようなイベントを目指した。多くの人の来場を期待している」と挨拶。続いて水谷隆文プロシエクトリイダーが「我々、サイン製作会社が最も関心、興味の持てる内容に特化し、いわゆる「職人さん」が気軽に見に来られるイベントにしたいと考えた。『元気な名古屋』を日本中に発信できるよう、組合内外を問わず、コミュニ

ケーションの輪を拡げていきたい」と述べた。会場内では、次のテーマで特別セミナーが実施された。

①デジタルサイネージの基礎知識②車両ラッピング貼の講座③インクジェットプリンターの未来は？(各プリンターメーカーによるパネルディスカッション)④ソーラーサインのすすめ

①は㈱ファーストが様々な場面で使用されるデジタルサイネージの事例とビジネスモデルについ



て説明。

②は㈱サインラボが車両3次元曲面への効率的なマーキングフィルム貼の施工、及びカッターナイフを使わず車体を傷つけるリスクのない「デジタル3次元曲面への効率的なマーキングフィルム貼の施工、及びカッター

③は愛広美青年部の山田豊氏がサイン製作会社に対して行ったインクジェットプリンター使用状況調査の結果、及び市場

マーキング方法は実演(上)、IJPメーカーによるパネルディスカッション(下)

分析について発表。続いて㈱セイコーアイ・インフォテック、日本ヒューレット・パカード(株)、㈱ミニキエンジニアリング、武藤工業(株)、ローランドディー・ジー(株)の各担当者が今回の出展機種の特長、インクジェット出力市場の動向と今後の展望、自社業務の注力ポイントを語った。

④は㈱美装が節電・省エネが社会的課題となる中でのソーラーサインの必要性、様々な用途、ソーラーシステム構築方法について説明した。